

沖縄県サンゴ礁保全推進協議会第36回理事会・議事録

議事録作成 沖縄県自然保護課 林  
 議事録署名人 八重山サンゴ礁保全協議会 吉田稔  
 エコツアーリズム・環境教育ふくみみ 大堀健司

◆概要

日時	令和7年2月22日 16時30分～19時00分	
場所	沖縄県教職員共済会館「八汐荘」中会議室	
会長	鹿熊信一郎	
副会長	八重山サンゴ礁保全協議会 吉田 稔	
理事 14名	出席 8名	日本サンゴ礁学会（中野義勝代表） （一社）沖縄環境科学センター（長田智史） 自然保護課（出井航） 大堀健司（エコツアーふくみみ） 環境省沖縄奄美自然環境事務所（山崎麻里） しかたに自然案内（鹿谷麻夕） 小菅陽子 兼次賢一
	オンライン 3名	藤田喜久 安部真理子 WWF（佐々木小枝）
	委任状 4名	案納昭則 岡地賢（㈱コーラルクエスト） 山野博哉、 沖縄県衛生研究所（友寄喜貴）
事務局	事務局長・金城孝一、林祐二、 宮平将生（沖縄県自然保護課）	
事務局補助	宮崎、玉那覇（キュリオス沖縄）	
会計	山川英治（沖環科）	
議長	鹿熊信一郎	
司会進行	金城孝一（沖縄県自然保護課）	
議事録署名人	吉田稔 大堀健司	

第36回理事会議事録

司会 事務局 金城	会長・副会長ほか、理事出席者8名 Web3名、委任状4名の計理事15名、規約18条より過半数を満たすので定足数を満たし理事会を行う。
司会	規約18条より総会の議長は鹿熊会長となる。

鹿熊会長	議事録署名人について議事録署名人について吉田氏・大堀氏を指名する。
鹿熊会長	R7 年度以降、協議会をどうするか議論に時間を割きたい事務連絡は手短に。 また新役員において理事に兼次氏が新たに加入した。
事務局 林	〈協議会の現状報告〉 【事務委託について】 現在事務委託は 2 社で契約期限 3 月末である。 【新役員について】 令和 6 年の役員選挙結果に基づき第 15 回総会で承認された理事は以下のとおり。 議事次第 1 頁参照。 訂正箇所あり。 ・理事に環境省沖縄奄美自然環境事務所、担当山崎麻里氏の記載漏れ。追記お願い。 ・理事の沖縄環境科学センター担当に長田智史氏の記載漏れ。追記お願い。
中野会長	運営事務局長については県自然保護課の金城氏となっているがこれでいいか。
事務局 林	運営事務局は県自然保護課だが、事務局長は規約第 24 条より会長が任命とあるので、のち議論する。新たな理事は 15 名（18 名上位選出うち副会長 1 名監査役 2 名指名） 沖縄県立博物館・美術館は内諾辞退。リーフチェック研究会は内諾辞退した。
事務局 林	【実行委員会について】 議事 2 頁記載。 現状記載の実行委員会が運営されている。
事務局 林	【R6 年度事業「サンゴ礁ウィーク 2025」における協議会主催イベント出展について】 サンゴ礁実行委員会より協議会主催イベント開催について提案がある。
鹿谷理事	オンライン・ズームのみの開催ならできだろうと提案中、2024 の白化についての情報共有と意見交換を考えている。中村崇氏、安部氏が話題提供予定、島嶼地域でもう 1 人くらい状況を報告できる方がいれば知らせてほしい。
事務局 林	協議会主催イベント開催で承認してよいか
理事	承認
事務局 林	【アラムコ支援事業報告会の開催について】 ・当初予算に組んだ報告会を 6 年度に実施できなかったため、アラムコ助成事業期間終了後の 2025 年 3 月末以降となる 2025 年 7 年度に報告会のみ行う方向でアラムコ社と調整した。時期は今年 6 月～8 月の間で、会場は万国津梁館にて想定している。 ・これについて、アラムコよりイベント委託会社を紹介受けた。 ・報告会では養殖移植事業 2 団体と今まで助成事業の団体 2～3 団体に報告発表。関係者や団体 60 名ほどを招待想定。報告会は 2～3 時間程度。 ・報告会は協議会主催となるが、とりまとめは委託事業者ウィライズ沖縄に委託する。

事務局 林	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協議会では①報告団体②招待リスト③日程を決定する。</li> <li>・尚、予算について6年度予算の報告会予算300万円のうち100万円程度を想定。別途旅費。なお残りの200万円はアラムコが別途にNPO団体と企画するイベントを同日か翌日に同時開催行うとのこと。</li> <li>・時間については日帰りできる時間が良いのではとのこと。</li> <li>・日程についてここで決めたい。</li> </ul>
事務局 金城	<p>広く参加できるように日帰りも可能にしたい、ということ。 社長が日帰りマストとかそういう話ではない。</p>
中野理事 事務局 金城 中野理事 鹿谷理事 事務局 林	<p>JSRの子どもたちを呼ぶなら土曜（平日は駄目） 万国津梁館が空いてないので金曜も候補に入れている 3つ大きな事業があったので、それぞれから1団体ずつ出られれば理想 空港からブセナ日帰り大丈夫？アラムコの独自企画が海を使うイベントなのか？ アラムコの企画しているイベントは全く未知なので、我々は関与しない。 候補日をいくつか出してアラムコに報告する。</p>
事務局 林 大堀理事 事務局 金城 事務局 林 事務局 金城	<p>日当は出ない。交通費と宿泊費のみ。 6月が事業的には嬉しい。 6/6～8でどうか。 この日程でよいか。→承認。可決。 この件に関して、細かいことは理事会として任せ、判断できるような人はいないか。人数が多いところに逐一決を取ると時間がかかりすぎる</p>
鹿熊会長 鹿熊会長	<p>運営員会が成果報告会の実行委員を兼ねる 委員長（鹿熊）、日本サンゴ礁学会（中野）、運営委員会で議論する（可決） 運営委員会は在任でよい。</p>
事務局 林 鹿熊会長 沖環科 山川 事務局 林 鹿熊会長 事務局 金城	<p><b>【今後の協議会の資金状況について】</b> 協議会の歳入について寄付金一覧説明。かつては寄付金を集める調達委員会があった。 議事次第4頁5頁参照 Kisjは何か キッズジャンボリー名目でアラムコから（山川） 既に歳出済みの金額を入れた令和6年度予算案では次期繰越金が997,418円と想定。この中から次年度委託が成立するか。運営に必要な総会や理事会なども開き方を考えないとならない。規約の改正なども視野に入れる必要がある。 3月末で今の時点で100万弱ということか 100万程度と想定しておいたほうがよい</p>

鹿熊会長	アラムコ以外の寄付は非常に不安定で、これをもとに予算組することはリスク。
事務局 林	アラムコからは今回の理事会に際しメールが来ている。茨田氏のメールの内容を紹介。アラムコは支援の条件に法人化を求めている。
鹿熊会長	法人化の条件がクリアできない。アラムコ側から働きかけがない限りは、こちらからお願いすることは難しいと思う。
中野理事	法人化についてアラムコには以前から同じようなことを言われている。またアラムコ本社側の意向が当初とは変化してきているので、日本法人との交渉も難しいと思われる。
鹿熊会長	<p><b>【協議会の今後について】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まず連絡がつかない会員については、会員を脱退させるのは難しいので、権利を停止した状態にしておくので問題ない。</li> <li>・令和7、8年度はどうするか。9年度以降どうするか。9年度は解散、もしくはネットワーク機能に特化した組織にするのが良いではないか。</li> <li>・資金50万でどうするか。フットワークを軽くして、事務局作業を減らす。外部委託ができなくなる、自然保護課が事務局負担をしなくならなくなる。</li> <li>・協議会を存続させるのか、させるとしたらその意義は何か。それぞれの意見を聞きたい。</li> </ul>
出井理事	アラムコ社とどうするか、協議会をどうするかは短時間の議論で出ない。委託をどうするか、報告会をどうするか、いつまでに何を解決するかというスケジュール感をまず立てるべき。
鹿谷理事	報告会はやるべきで、その後に関しては形を全く改める方がいいと思っている。事務局を引き受ける人がいなかったから法人化が達成できなかった。
小菅理事	法人化委員会に自分たちの名前があるが、手続きの負担が非常に大きい。
兼次理事	県内企業に営業をかけて寄付をつのれないか。あとは予算のスリム化とか。解散は損失だと思う。
沖環科長田理事	簡素化に舵を切りつつ、寄付が大きめに来たときには何かできるようにしておく、という方向がいいのでは。
環境省山崎理事	良い取り組みだとは思っていたが、助成金事業がとても役に立っているのであれば、資

	<p>金を集めて存続させることを考えては、動かすのがしんどい組織になっているのかなと感じる。事務局運営をなるべくコストをかけないように、委託しない形でできるのではないだろうか。</p>
大堀理事	<p>会員になったけれど総会に出てくださいというのは無理。交流の場としての機能ができていない。島嶼地域にとってはこちらに来て交流できるのは貴重。交流の場が残ればよい</p>
吉田副会長	<p>アラムコ社とは報告会で終了。協議会は理事が多すぎて収集がつかない、本当にやりたい人が3-4人とかでやるべき。ネットワーク機能にしる、動きが大変。もしそのメンツが出ないならきっぱり解散したほうが良い。</p>
WWF 佐々木	<p>協議会を簡素化していく中で、絶対やりたい事が何なのかはもう少し丁寧に議論を。設立のときに決めたメニューに立ち返って。寄付に関しては、毎年数百万規模で得るとするのは昨今なかなか厳しい。理事が資金調達に動けないならなおさら。続けるにしてもやめるにしてもお金がかかる。最低限のことに絞って。やってきた成果は財産だと思う、検証みたいなことはやってもいいのではないか。そのためのお金を、WWFを使って取ってくるとか。能動的に関わってこれなかったが、大事な時期なのでもっと意見したり手を動かしたりしたい。話し合う機会を作っていきたい</p>
藤田理事	<p>理事が多すぎて決定がおそい。継続するにしてもコンパクトに。報告会に向けてはしっかり動かないといけない。個人的には休眠化を考えていったらいいと思っている。事務局委託も難しい。手を挙げる人がいたら協力したい</p>
安部理事	<p>理事の数を減らして、これまでやりたいことが明確になってなかったのでそれを明確化して、資金が問題であるのであれば、国内外の資金もあるので応募してみたらいいのではないか。サンゴ礁ウィークはとても良い取り組みだったのでなんとか続けていただけたらよい。</p>
鹿熊会長	<p>設立の理事会資料12頁「基本理念」1~4で何をやるべきかが書かれている。交流の場だけになったとして、これらができないことはない。3の保全事業はお金がないと難しいが、それでも解決策の提案などはできるのでは。</p>
中野理事	<p>協議会は「フィールドを持たない協議会」としてスタートした。それぞれの取組はとも小さい。孤立させないという理念のもとに。そして沖縄県の看板を掲げていたら世界的なエネルギー企業が目をつけた。世界各地で保全の支援をしていて、沖縄に拠点を作ったのでそれに支援したいと。世界的世論の中でスタンスが変わってきた。</p>

沖環科 山川	事務局の自然保護課の負担が大きい。本来の業務でないところで仕事をしないといけない、また理事の皆さんも時間が割けない。また大きいお金が入ってきたとしても、専任がいないのであれば動かしていくのは難しい。ネットワークに特化するのではれば、オンラインのみで済ませてしまう。大きな事業をやるときは独立採算で運営することも考えていいのでは。任意団体なのでお金を扱うには法的にグレーなところがあり、この組織のまま大きなお金を扱うのは危ない。
鹿熊会長	協議会の選挙と総会が現状 web 化できていない。次の総会でそれを改正するのが現状急務でないか
藤田理事	組織を維持するためには総会を開かないといけない、そのマンパワーが確保できない。続けるならその部分を変えなくてはならない。メールでやるにしる資料作らないとできない。現状の組織を維持することがそもそもかなり難しいのではないか。NPO なり任意団体なり。組織体を変えなければネットワーク化もできない。結局誰かが負担しなくてはならなくなる
事務局 林	理事の人数が多い問題。連絡がつかない会員の問題。運営資金がない問題。この場において、規約の改正、縮小化のための作業を受け持つ人をこの場で決めれば、次の総会で一気に変えることができるのではないか。もしない場合は会長に一任にするか、そのどちらかではないか
鹿熊会長	一人で決めるのは権限的に無理なので、案を作って投げることになる。解散するとしたら2年間猶予があると考えている。次の総会で解散した方がいいと思う方はいるか。藤田さんはどう思うか
藤田理事	現行の組織でない体制にするのが良いのでは。さもないと事務局の作業が残り続ける
鹿熊会長	まずは規約の改正で簡略化できる部分をする。
藤田理事	令和9年まで事務や経理が維持できるかどうかはよく考えた方がよい
事務局 金城	3月末で契約期限を迎える委託をどうするかはまず決めた方がよい。沖環科への委託を残すかどうか。
沖環科 山内	現状の業務であれば委託がなくても続けられるが、これ以上負担が増える場合に対応しかねる。少なくとも委託が切れるから何もしないことはない。

<p>鹿熊会長</p> <p>長田理事</p> <p>鹿熊会長</p> <p>事務局 宮平</p> <p>事務局 林</p> <p>事務局 金城</p>	<p>今年度の沖環科に委託をお願いするか決をとる 〈一同承認〉</p> <p>アラムコ報告会のサポートについて海の自然史研究所は委託できないのでは。</p> <p>アラムコ報告会の予算は一般会計とは別</p> <p>アラムコ報告会の予算について使途が完全に決められている</p> <p>アラムコ報告会準備について一般会計から持ち出して協力する必要は本来ない。</p> <p>海研が事業完了後、納期に報告書を取りまとめたら、あとは事務局でもまとめられる。</p>
<p>事務局 林</p>     <p>鹿熊会長</p>	<p>年度内に規約の改正、報告会の詳細を準備する。</p> <p>サンゴ礁ウィーク協議会主催イベントについては実行委員会で実施実行お願いする。</p> <p>次年度理事会・総会についてまた連絡する。</p> <p>今後の方針について各理事の意見が聞けて良かった。規約の改定に向けて検討する。</p> <p>今回はここまでで閉会する。</p>